

渋谷フリータイム

自己紹介

- 木内章人
- 3年生
- 専門部
- Flutterコース

企画背景

1. 渋谷区内の無料で楽しめる場所が分散している
2. 期間限定の無料イベント情報が把握しにくい
3. 節約層のニーズに答えられていない



画像の入手元

<https://publicdomainq.net/shibuya-scramble-crossing-0012257/>

課題

1. 情報が分散している

1.1. 渋谷区内の無料スポットやサービス、イベント情報が各施設の公式サイトや SNS に散在し、探しにくい。

2. 無料イベントの把握が困難

2.1. 期間限定の無料キャンペーンやフェスが SNS でしか告知されず、見落としがち。

3. 予算を抑えたい層のニーズ

3.1. 学生や若年層など、できるだけお金をかけずに遊びたいユーザーが増加しているが、無料で楽しめる選択肢を見つけづらい。

開発環境

1. 使用している言語やフレームワーク

- 1.1. Next.js
- 1.2. TypeScript
- 1.3. Tailwind CSS
- 1.4. Supabase
- 1.5. Newt CMS
- 1.6. Resend

機能

1. メイン機能
 - 1.1. 無料スポット・サービス一覧
 - 1.2. 期間限定イベントの一覧
 - 1.3. 記事一覧と詳細
2. メールマガジン登録
3. カテゴリーやタグによるジャンル分け
4. シンプルで使いやすいデザイン

市場調査

1. 渋谷区の集客力

1.1. 年間数億人規模の訪問者(国内の若者や近隣在住者も多い)。無料スポット・イベントへの潜在需要が大きい。

2. 節約志向の高まり

2.1. 物価上昇や若者の低予算レジャー需要などから無料や低価格を求める動きが顕著。

3. 期間限定イベントの頻度

3.1. 代々木公園や商業施設主催の無料フェスやキャンペーンが年間を通じて多数開催。

競合調査

1. 大手イベントサイト

1.1. 情報は豊富だが、有料・無料が混在し渋谷特化ではない。

2. 地域メディア

2.1. ローカル情報豊富だが、無料のものだけを調べづらい。

3. SNS

3.1. 速報性は高いが、情報が流れて埋もれやすい。

4. 自治体や公共の情報

4.1. 信頼性は高いが、更新頻度や掲載範囲に限りがある。

差別化

1. 渋谷×無料に特化

1.1. 有料混在の他サイトと異なり「無料」にフォーカスして情報を一本化。

2. 期間限定情報のタイムリーな更新

2.1. SNSなどで終了直前のものまでフォローし、見逃しを防ぐ。

より差別化するために

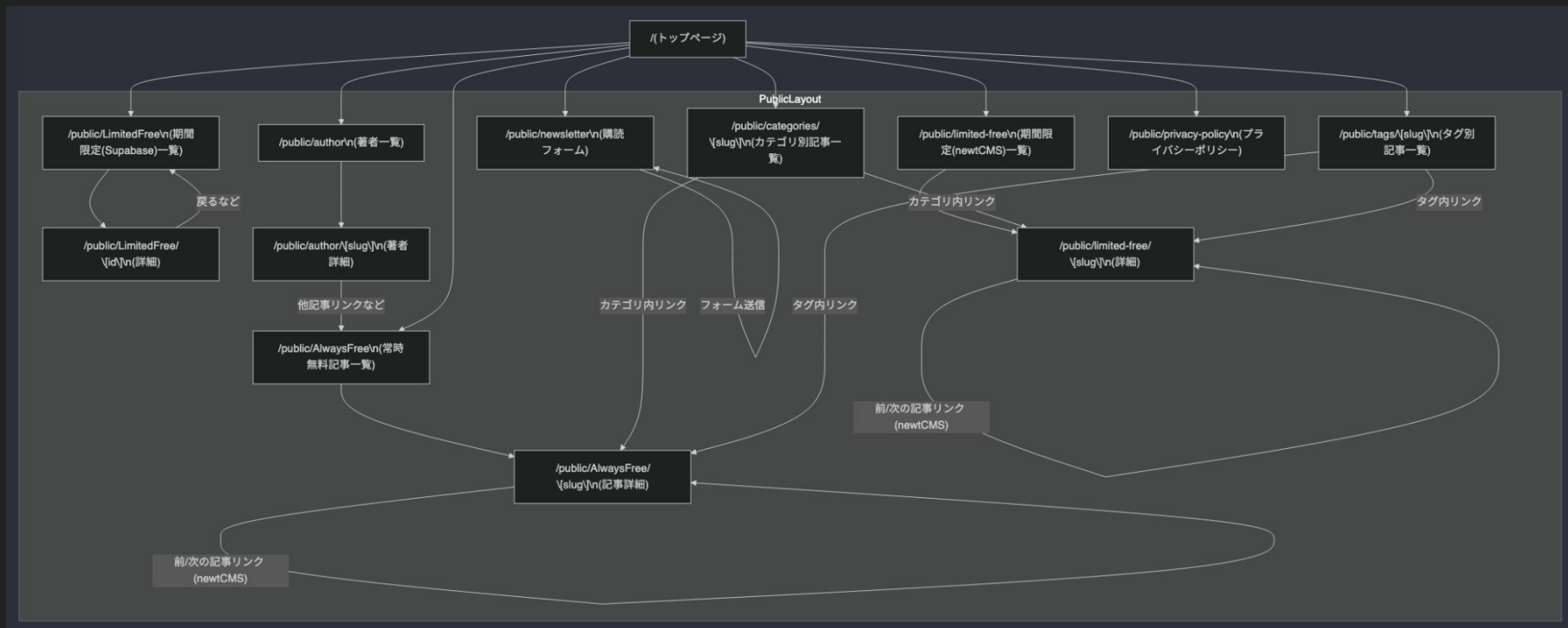
1. 使いやすいUI・検索機能

1.1. カレンダー表示や地図連携で、目的に合った無料スポット・イベントを即見つけられる。

2. 口コミの共有

2.1. 行った人の写真・感想を蓄積し、「無料でも満足度が高い」と証明しやすい仕組みを作る。

フロントエンドの推移図



今後のロードマップ

1. アカウント管理機能
 - 1.1. アカウント登録や削除、登録した内容の変更など
2. アカウントを登録後にできる様にしたいこと
 - 2.1. お気に入り登録できる機能
 - 2.2. レビュー機能
3. Newt CMSからSupabaseに移行する
 - 3.1. Supabaseに移行後にやりたいこと
 - 3.2. 管理画面のデザインや機能面を強化する

デモ画面

1. 閲覧用URL: <https://shibuya-free-time.neuron-grid.net/>
2. 管理者用URL: <https://shibuya-free-time.neuron-grid.net/admin/login>
3. ログイン用ID/パスワード
 - 3.1. Email: admin@shibuya-free-time.neuron-grid.net
 - 3.2. パスワード: Qiye@208

動画

1. ユーザー向け画面とメールアドレスの管理

1.1. <https://e.pcloud.link/publink/show?code=XZ4XPKZbHVQvTnLHJS7Tn8RDGoxNzV1Ojrk>

2. 管理画面

2.1. <https://e.pcloud.link/publink/show?code=XZfXPKZ26S0SDetabVFgq0tHB8mO42sY057>

3. 期間限定の記事の投稿画面

3.1. https://drive.google.com/file/d/1p3sNBcxEk5HsMexMPELLv5Oq28_k6Vx5/view?usp=sharing